SIA PUBLIC RELATION PAPER
SIA NEWS
VOL.174
2017.1.25
Proffessional Ski Instructors Assosciation of Japan
安全なスノースポーツを SIA
PROFESSIONAL SKI INSTRUCTORS ASSOCIATION OF JAPAN
SIAは日本を代表して国際スキー教師連盟(ISIA)に加盟しています。
人に優しく、自然に優しく。
～白い雪山をいつまでも～
クリーンキャンペーン SIA
8月11日は「山の日」
1月12日はスキーの日

総裁　彬子女王

クロスカントリースキーを初めて履いたのは、中等科のころだっただろうか。最初は、父に言われて渋々だった。と言うのも、子どものころから喘息もちで、すぐ苦しくなってしまうので、持久力の必要なものは大の苦手なのである。「お前の親友がやるんだから、お前も付き合え!」と、ほかの友人たちが楽しそうにアルペンスキーに興じるのを横目に見ながら、熊の湯のスキー場の麓で、その友人と二人、父の厳しい指導を受けた。あのときの悲壮感と、同じ「スキー」のはずなのに、まったく思うように動かすことのできなかったもどかしさは、今でもよく覚えている。

そんなつらい記憶で始まったクロスカントリーだけれど、今では無理やりにでもあのときやらせていただいたことを感謝している。父がお隠れになり、美瑛町での宮様国際スキーマラソンや、札幌の宮様スキー大会での宮様スキーパレードなど、父が実際にコースを作られ、走っておられた大会を視察する機会が増えた。父が大切にしておられた大会。やはりスキーは見るものではない。参加したくなってきたのである。

平坦なルートをゆっくり走るだけだけれど、参加するとみなさんとても喜んでくださる。「また来年も来てね!」とか「これ食べて行って～」とか、声をかけていただけるのがうれしくて、ようやくクロスカントリーが楽しいと思えるようになった。

去年は、スキーを始めたばかりなのに、クロスカントリーのお供もさせられることになった側衛さんの指導までしてしまった。基礎も何もない私が教えられることはほとんどないのだが、1時間くらいひたすら一緒に滑っているうちに、彼はスケーティングが劇的に上達した。それに伴い、アルペンのスケーティングもうまくなり、数日間で見違えるように立派なスキーヤーになってしまったのである。

美瑛町でも遅れることなくついてきて、「このペースだったらまだいけます」と、にやりとされたとき、すさまじい敗北感に襲われた。でも、まだアルペンは負けませんから。

会長就任挨拶

会長　中島 英臣

この度11月の総会において会長を就任することとなりました中島英臣です。

馬淵雄一前会長から大変な大役を引き継ぐこととなりましたが協会発展の為、微力ながら頑張っていく所存ですので何卒よろしくお願いいたします。

SIAが公益社団法人になるまでには、歴代の会長、役員や監事の方々の努力がありました。また、2012年に薨去された寛仁親王殿下に於かれましては言い尽くせないほどのお力添えをいただきました。

寛仁親王殿下の作られた「SIAの理念」に「SIAはスキーを初めとするあらゆるスノースポーツの技術指導を目的とした我が国唯一の専門家（プロフェッショナル）集団である」とあります。SIAは2016年3月に「日本プロスキー教師協会」と名称を変更いたしました。「プロ」つまり「プロフェッショナル」とは、専門知識と能力を持ち、深い教養と豊かな人間性を備え、自らその分野で価値を生み出し実践できる人材を意味します。「プロ」として客観的に認められる為には関連する資格を取得していく必要もあります。資格をきちんと取得して維持した上で、スノースポーツの楽しさを生徒さん達が楽しみながら身につけられる指導力と人間性を持っていることが、とても大切です。杉山進最高顧問が仰っていた「技術は銀、人柄は金」まさに、この言葉です。

総裁 彬子女王殿下の元、今後も会員ひとりひとりがプロのスキー教師としての自覚をし、努力していかなければなりません。

少子化高齢化が急速に進む日本では経済成長を促す為インバウンドを進める政策をとっておりスノースポーツの業界にも、その影響が顕著に出てきています。会員の語学力向上も必要不可欠になっているのではないでしょうか。

新しい執行部では、このような社会情勢を敏感にくみ入れ全ての会員がSIAに所属している意味とプライドを持てる組織にするべく努力していく所存です。

そして、もうひとつ。私自身の大切な任務は、将来のSIAを担うであろう若い役員や執行部の面々への良き引き継ぎとなる、ということと自覚しています。

今シーズンは、早くから雪の便りがあり、良いスタートが切れるはずでしたが地球温暖化による異常気象で、雪不足のため厳しいスタートとなった公認校も多々あるようです。良いスタートを切れた公認校も厳しいスタートを切った公認校も、お越しいただいた生徒さん達が笑顔でお帰りいただけるようプロスキー教師として2017シーズンを乗り切っていきましょう!

第43回 SIAフェスティバル2017 in 志賀高原 行事日程

SIAフェスティバル2017 日程		4/1(土)		4/2(日)		4/3(月)		4/4(火)		4/5(水)		4/6(木)		4/7(金)		4/8(土)		4/9(日)	
行事名		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
第39期アルペンスキーデモンストレーター選考会								■	■	■	■								
第39期スノーボードデモンストレーター選考会						■	■												
第39期テレマークスキーデモンストレーター選考会						■	■												
第15回マスターズスキー教師選手権大会								■	■	■	■								
会員親善GSL						■													
ステージⅠ 検定会(検定のみ)																■	■		
ステージⅡ 検定会(検定のみ)																■	■		
ステージⅢ 検定会													■	■	■	■	■	■	■
イグザミナー認定会(SB)														■	■	■			
イグザミナー認定会(AP・TM)																	■	■	■
デモ選強化セミナー（AP・MS・SB・TM）		■	■	■	■														
障がい者スキー講習会												■	■	■	■	■	■	■	■
アメリカ講演会												■	■						
SIA・アメリカ技術発表デモンストレーション													■						
アメリカスキー技術講習会(一般可)													■	■	■				
アメリカレーシング指導者&技術講習会(一般可)													■	■	■				
アメリカスキー技術講習会(一般可)																■	■	■	
アメリカレーシング指導者&技術講習会(一般可)																■	■	■	
山岳安全講習会(ISIAｶｰﾄﾞ対応)												■	■	■	■				
スノースポーツ教師のための実践英語レッスン（雪上含む）												■	■	■	■				
公認スキー学校長研修会											■	■	■	■					
賛助会員情報コーナー（ニューモデル試乗会含む）									■	■	■	■	■	■					
クリーンキャンペーン					■														
ウェルカムパーティー											■								
〈一般向け〉	チャリティースキーレッスン（小学生対象）			■	■														
	チャリティースキーレッスン（女性対象）			■	■														
	スノーゲイン／スキーオリエンテーリング	■	■	■	■														
	ジュニアスキー技術コンテスト			■	■														

SIA FESTIVAL 2017 in Shiga kogen

4/1～9の期間、長野県志賀高原スキー場におきまして、全国のSIAスキー・スノーボード・テレマークスキー教師が集まり、検定や研修会、一般スキーヤー対象のレッスン、デモンストレーター選考会等を行う「第43回SIAフェスティバル2017」を開催いたします。
SIAフェスティバルは1975年以来、毎年4月に開催されており、志賀高原スキー場では3回目の開催となります。延べ参加人数が約1500名、スキー教師は元より、スキー業界・一般スキーヤーに対しても大きなイベントとして位置付けられています。また、スノースポーツを通じた国際親善・国際交流も図られ、今年は国際スキー教師連盟加盟国であるアメリカから、元ナショナルチームのイグザミナー2名が参加します。

◎会場／長野県・志賀高原スキー場　◎主催／公益社団法人 日本プロスキー教師協会（SIA）
◎後援／（予定）外務省・スポーツ庁・アメリカ大使館・アメリカ政府観光局・長野県教育委員会・山ノ内町・山ノ内町教育委員会・志賀高原観光協会・志賀高原スキークラブ
◎協賛／SIA賛助会員・志賀高原リゾート開発株式会社・ホテル一乃瀬　◎協力 ／SIA志賀高原支部・ホテル ホゥルス志賀高原・ホテル山楽

会員対象／一部一般

アメリカ スキー講習会（4/6～7・4/8～9〈会員・一般愛好者〉）

国際スキー教師連盟（ISIA）に加盟しているアメリカスキー教師連盟より、
2名のスキー教師を講師として招聘し、アルペンスキー技術講習と
レーシング指導者&レーシング技術講習会を開催。
一般愛好者も参加できます。

SIA・アメリカ技術発表デモンストレーション（4/6 一般見学自由）

SIA新公式メソッドに基づき、デモンストレーターが技術を発表します。
アメリカチームもアメリカのメソッドに基づいた
デモンストレーションを予定しています。

第39期デモンストレーター選考会（オープン大会）（4/3～ 5 スキー・スノーボード・テレマークスキー）

トップレベルの選りすぐれた技術と指導理論を身に付けたスキー・スノーボード・
テレマークスキー教師を選考します。
今回はオープン大会として一般愛好者も参加しての大会となっております。

SIA会員親善GSL大会（4/3）

SIA会員及びその他関係者も参加し、大回転競技会を開催します。
ステージⅢは結果に基づき、
国際スキー教師連盟認定資格の「ISIAカード」資格取得のポイントとなります。

デモ選強化セミナー（4/1～ 2）

デモンストレーター選考会の実技対策として開催します。

山岳安全講習会（4/6～7）

国際スキー教師連盟の「ISIAカード」取得のためのプログラムとして、
実技と学課の講習会を開催します。

SIA公認スキー学校長研修会（4/5～7）

SIA会員が所属する公認スキー学校の健全な運営と資質の向上を目的とし、
学校長並びに副校長クラスを対象に開催します。

賛助会員情報コーナー（4/4～ 7）

オフィシャルホテルに、賛助会員（法人）の取扱商品等の最新情報ブースを
設置します。どなたでもご覧になれます。

アメリカ講演会（4/6）

アメリカの2名の講師と、スノースポーツについて情報交換を開催します。
「アメリカスノースポーツメソッド」「アメリカスノースポーツ産業」に
ついての講演を開催します。

ウェルカムパーティー（4/5）

アメリカからの招聘教師を歓迎するパーティーをSIA主催で開催します。
SIA会員、賛助会員、プレスか関係者は元より、地元の関係各位にも
ご出席戴きます。

第14回マスターズスキー教師選手権（オープン大会）（4/4～5）

生涯スポーツとしても関心が高く、中高年スキー愛好者をリードする
ベテランスキーインストラクターの活躍がますます期待されるため、
男女40歳以上の参加制限で開催されます。
こちらもオープン大会として一般愛好者も参加しての大会となっております。

ステージⅢ（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）実技検定会（4/6～9）

スキー教師・スノーボード教師・テレマークスキー教師資格のレベルアップ。
実技と指導実習の検定を行います。

障がい者スキー教師認定会（4/6～9）

障がい者スキー指導の知識を深めるため、障がい者スキーに関わる講義と
雪上でのチェアスキー・アウトリガーを使用した指導法についての
講習と認定会を行います。
合格者は「障がい者スキー教師」として認定されます。

スノースポーツ教師のための実践英語レッスン（4/6～7）

インバウンド対応の一環として、
最低限の英会話でレッスンが出来ることを目的として、
会員を対象に研修会を行います。

クリーンキャンペーン（4/ 2）

「人に優しく、自然に優しく～白い雪山をいつまでも～」をモットーに、
クリーンキャンペーンを実施。
チャリティースキー参加者により、スキー場エリアの清掃（ゴミ拾い）を
行います。

一般対象

チャリティースキー〈小学生対象〉〈女性限定〉(4/2)

SIAスキー教師が講師となり、小学生を対象としたレッスンと、
SIA女性スキー教師が講師となり、女性限定レッスンを行います。
チャリティーの収益は「メダリスト育成」のため
(公財)全日本スキー連盟に寄付致します。

ジュニアスキー技術コンテスト(4/2)

ジュニア育成の事業として、ジュニア(小・中学生・高校生)を対象とした、
「スキー技術コンテスト」を開催します。

スノーゲイン/スキーオリエンテーリング志賀高原大会同時開催(4/1～2)

SIAとJOA(公益社団法人日本オリエンテーリング協会)の共催で、「歩くスキー」等を使ったイベントを開催します。
スノーゲインは、スノーシュー、歩くスキーなどを利用して、雪原でロゲイニング(オーストラリア発祥の大規模スコアオリエンテーリングのような競技)を行います。

今年はアメリカが来る

来日メンバー

Matt Boyd
マット ボイド

■2008～現在
PSIA ナショナルチーム メンバー
■PSIA 東アメリカ支部、エグザミナーコーチ
■2003～ PSIA エグザミナー
■USSA(アメリカ・スキー&スノーボード協会)
トレーナー
■初等教育理学士号取得

Michael Rogan
マイケル ローガン

■1996年～
PSIA アルペンナショナルチーム メンバー
■2016-17シーズン アルペンチームコーチ
■「SKI Magazine」指導ディレクター
■チリ、ポルティーヨ・スキーリゾート運営マネージャー
■アメリカ・スキーチーム基本スキル・技術コーチ歴5年

宿泊(オフィシャルホテル)について

検定以外は宿泊先の指定はありませんが、この行事開催にあたり、ホテル一乃瀬・ホテルホゥルス志賀高原・ホテル山楽様には多大なご協力を頂いていますので、下記オフィシャルホテルのご利用をお願いいたします。

〈オフィシャルホテル〉

●ホテル一乃瀬
〒381-0401 長野県下高井郡 山ノ内町志賀高原一の瀬 TEL.0269-34-2802
●ホテル ホゥルス志賀高原
〒381-0401 長野県下高井郡 山ノ内町志賀高原一の瀬 TEL.0269-34-3355
●ホテル山楽
〒381-0401 長野県下高井郡 山ノ内町志賀高原一の瀬 TEL.0269-34-2217

〈宿泊費〉 3名以上1室=9,500円 2名1室=10,300円 1名1室=15,400円
(1泊2食、リフト券、税込み)

ホテル一乃瀬

ホテル ホゥルス志賀高原

ホテル山楽

お問い合せ SIA事務局 TEL 03-5542-5907 FAX 03-5542-5908 E-mail info@sia-japan.or.jp

第39期SIAスノーボードデモンストレーター選考会〈オープン大会〉

日　　程：平成29年4月3日（月）
参 加 費：〈SIA正会員〉〈新規入会者〉6,500円（保険代含む）　〈オープン参加者〉4,000円（保険代含む）
参加資格：SIA正会員・新規入会者及びオープン参加者で下記の条件を満たす者。
〈ＳＩＡ正会員〉　①スノーボード・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。　②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
〈新規入会者〉　①平成29年3月末までに実施の、スノーボード・ステージⅠ検定会に合格し入会した者。
〈オープン参加者〉　①スノーボード愛好者（参加資格特になし）。
注意事項：使用するボードの台数は制限なし。
各種目とも使用するボードの種類（アルペン・フリースタイル）の選択は自由。
正会員・新規入会者はヘルメットを着用すること。
オープン参加者はヘルメットまたは帽子を着用すること。
（なるべくヘルメットの着用をお願いします）。

表　　彰：デモンストレーター認定者は表彰されます。
認定資格：①SIA正会員。スノーボード・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。
②SIA公認校に所属し、学校長の推薦があること。
③公認校で30日以上の指導活動をし、その証明書を提出できる者。
そ の 他：※採点方法：3審3採用（その場で得点を表示します）
※デモ認定者：2名～3名（予定）　認定者数は選手会で発表する。
（ステージⅡから最大1名、ステージⅠから最大1名、ステージⅢは人数制限なし）
※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。
締　　切：〈SIA正会員〉2月28日（火）当日消印有効　〈オープン参加者〉〈新規入会者〉3月17日（金）必着

第39期SIAテレマークスキーデモンストレーター選考会〈オープン大会〉

日　　程：平成29年4月3日（月）
参 加 費：〈SIA正会員〉〈新規入会者〉6,500円（保険代含む）　〈オープン参加者〉4,000円（保険代含む）
参加資格：SIA正会員・新規入会者及びオープン参加者で下記の条件を満たす者。
〈ＳＩＡ正会員〉　①テレマークスキー・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。　②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
〈新規入会者〉　①平成29年3月末までに実施の、テレマークスキー・ステージⅠ検定会に合格し入会した者。
〈オープン参加者〉　①テレマークスキー愛好者（参加資格特になし）
注意事項：使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
正会員・新規入会者はヘルメットを着用すること。
オープン参加者はヘルメットまたは帽子を着用すること。
（なるべくヘルメットの着用をお願いします）。

表　　彰：デモンストレーター認定者は表彰されます。
認定資格：①SIA正会員。テレマークスキー・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。
②SIA公認校に所属し、学校長の推薦があること。
③公認校で30日以上の指導活動をし、その証明書を提出できる者。
そ の 他：※採点方法：3審3採用（その場で得点を表示します）
※デモ認定者：1名～2名（予定）　認定者数は選手会で発表する。
（ステージⅡから最大1名、ステージⅠから最大1名、ステージⅢは人数制限なし）
※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。
締　　切：〈SIA正会員〉2月28日（火）当日消印有効　〈オープン参加者〉〈新規入会者〉3月17日（金）必着

第39期SIAアルペンスキーデモンストレーター選考会〈オープン大会〉

日　　程：平成29年4月4日（火）～5日（水）
参 加 費：〈SIA正会員〉〈新規入会者〉10,500円（保険代含む）　〈オープン参加者〉4,000円（保険代含む）
参加資格：SIA正会員・新規入会者及びオープン参加者で下記の条件を満たす者。
〈ＳＩＡ正会員〉　①アルペンスキー・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。　②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
〈新規入会者〉　①平成29年3月末までに実施の、アルペンスキー・ステージⅠ検定会に合格し入会した者。
〈オープン参加者〉　①アルペンスキー愛好者（技術レベル:SIAセミゴールド、SAJ1級以上）
注意事項：使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
正会員・新規入会者はヘルメットを着用すること。GSL時には、クラッシュヘルメットを着用すること。
オープン参加者はヘルメットまたは帽子を着用すること。（なるべくヘルメットの着用をお願いします）。

表　　彰：デモンストレーター認定者は表彰されます。
認定資格：①SIA正会員。アルペンスキー・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者。
②SIA公認校に所属し、学校長の推薦があること。
③公認校で30日以上の指導活動をし、その証明書を提出できる者。
そ の 他：※採点方法：5審3採用（その場で得点を表示します）　※デモ認定者：男子15名（ステージⅡから最大2名、ステージⅠから最大1名）
女子 4名（ステージⅡから最大1名、ステージⅠから最大1名）
※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。
締　　切：〈SIA正会員〉2月28日（火）当日消印有効　〈オープン参加者〉〈新規入会者〉3月17日（金）必着

第15回マスターズスキー教師選手権大会要項〈オープン大会〉

日　　程：平成29年4月4日（火）～5日（水）
参 加 費：〈SIA正会員〉〈新規入会者〉〈準会員〉10,500円（保険代含む）　〈オープン参加者〉4,000円（保険代含む）
参加資格：4月1日現在、男子満40歳以上、女子満40歳以上のSIA正会員・準会員及びオープン参加者で下記の条件を満たす者。
〈ＳＩＡ正会員〉①アルペンスキー・ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲの有資格者　②前期までに入会した者。（推薦入会者は今期入会も認める）
③今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
〈準　会　員〉①国際スキー技術検定シルバー以上を有し、準会員に入会した者。
②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
〈オープン参加者〉①アルペンスキー愛好者（技術レベル:SIAセミゴールド、SAJ1級以上）
注意事項：使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
正会員・新規入会者はヘルメットを着用すること。GSL時には、クラッシュヘルメットを着用すること。
オープン参加者はヘルメットまたは帽子を着用すること。（なるべくヘルメットの着用をお願いします）。
表　　彰：「SIAマスターズ教師選手権」で上位3名（男女別・部門別〈40歳、50歳、60歳〉）は表彰されます。
そ の 他：※採点方法：5審3採用（その場で得点を表示する）
締　　切：〈SIA正会員〉2月28日（火）当日消印有効　〈オープン参加者〉〈新規入会者〉3月17日（金）必着

共通事項

申込方法：〈SIA正会員〉〈新規入会者〉は詳しい要項と申込用紙を、SIAホームページ（http://www.sia-japan.or.jp）から出力し、使用してください。
出力できない方は、SIA事務局に請求してください。〈オープン参加者〉は、デジエントリー（http://dgent.jp）より申込みを行ってください。
宿　　泊：宿泊先の指定はありませんが、この行事開催にあたり、ホテル一乃瀬・ホテルホゥルス志賀高原・ホテル山楽様には多大なご協力をいただいていますので、オフィシャルホテルのご利用をお願い致します。
そ の 他：オフィシャルホテルの宿泊は同時に申し込んで下さい。締切以後のキャンセルは参加費用は返却しません。
宿泊料は3月24日（金）以前のキャンセルであれば、返却します。
※受付：本人または代理人が受付を行いゼッケン配布を受けて下さい。規定時間内に受付をしなかった場合は失格とします。
※選手会：本人が出席して下さい。（応援者などの同席も認めます）
※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

種目&日程

スノーボード

4/3（月）	総合滑降 ロングターン ショートターン

テレマークスキー

4/3（月）	総合滑降 テレマークターン・ロング テレマークターン・ショート

アルペンスキー・マスターズ

4/4（火）	総合滑降 パラレルターン・ロング パラレルターン・ショート	4/5（水）	シュテムターン～ 基礎パラレルターン GSL

【着眼点】　全体テーマ「SIA教師としての滑り」

スノーボード
◆総合滑降
・斜面に応じたリズム変化をともなった滑り
・使用ボード（マテリアル）の特徴を生かした滑り
・流れのある動きとキレのある積極的な滑り
◆ロングターン
・スピードに乗った、斜面状況にあったロングターン
・流れのある動きとキレのある積極的な滑り
◆ショートターン
・スピードに乗った、斜面状況にあったショートターン
・リズミカルな動きとキレのある積極的な滑り

テレマークスキー
◆総合滑降
・斜面状況や斜度変化に対応し、スピーディーで積極的なスキー操作を行っていて、安定したテレマーク姿勢でスキー操作を行っている
◆テレマークターン・ロング
・スムーズな脚の入れ換えを行っていて、テレマーク姿勢が的確である
・左右ターン孤のバランス及び孤の大きさが滑降状況にあっている
・ターンコントロールやスピードのコントロールができている、安定感のあるスピーディな滑り
・ストックを使用している。
◆テレマークターン・ショート
・スムーズな脚の入れ換えを行っていて、テレマーク姿勢が的確である
・左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている
・安定したポジションでスキー操作を行っていて、ターンコントロールやスピードのコントロールができている
・リズミカルなスキー操作がされている
・ストックを使用している

アルペンスキー・マスターズ
◆総合滑降(リズム変化／規制あり)<オープン大会種目>
・ハイスピードの中でのスピードコントロール
・斜面に応じたリズム変化をともなった滑り
・ストックの使用は自由
◆パラレルターン・ロング<オープン大会種目>
・状況で生じる外力、運動エネルギーの活用とバランスの良い体の活用
・ストックの使用は自由
◆パラレルターン・ショート<オープン大会種目>
・状況にあったスピード、リズム、ターン弧のマッチングと有能なストックワーク
・ストックを使用する
◆低速種目（シュテムターン～基礎パラレルターン）
・山開きでフォールライン上でのストックを使用した引き寄せから、外スキーの内旋の軌道をベースにパラレル操作に移行
・中斜面に適したスピードとターン弧
・状況に合わせた上下動を使用する
◆GSL（1走1採用）
・FISルールに沿った旗門設定・クラッシュメット着用、スキーレギュレーションなし
・スタートは初日の順位順とする
・ラップタイムを出した者には、275点を与える
以下ラップタイムに遅れること0.9%ごとにマイナス 1点とする
・完走者の最低点は235点、不通過者・未完走者230点とする

体力と動作の科学⑨ スキーヤーの左右への動き(4)

急斜面カービングターンへの対応

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
三浦 哲

今シーズンは、大雪の予報ですが、シーズンを楽しめていますでしょうか。前回は、中斜面でのスキッディングパラレルターンとカービングターンの違いから、カービングターン導入への足掛かりを確認し、カービングターンができるようになりましたので!?、今回は、急斜面でのカービングターンの左右の動きを取り上げます。

【中斜面と急斜面の比較から】

図1に指導者資格を持った被験者が、中斜面13度と急斜面20度でカービングターンを行った際の内傾角の違いを示しました(三浦ほか、2001a;三浦ほか、2001b)。左右グラフの棒は上から、体幹、外脚、重心の内傾角です。

ターン期を分け、

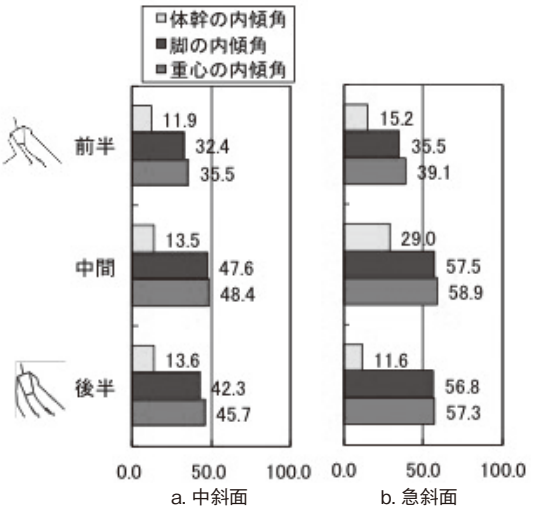
ターン前半‥ターン中間と切り替えの中間時点

ターン中間‥スキーがフォールラインを向いた時点

ターン後半‥下肢が最も深く屈曲した時点

としています。滑走条件の詳細は、ショートポールにより左右への振り幅を規制し、中斜面では左右2mの計4m、急斜面では左右4mの計8mです。ポールのフォールライン(縦)方向への距離は中斜面で8m、急斜面で26mでした。急斜面が左右へ倍の距離の移動が必要になりますが、縦方向への落差も十分とっており、大きなターンとなります。内傾角は、速度・曲率(回転半径)・スキーの横ズレによって決まってきます。急斜面では、これらがトータルで大きくなり、中斜面よりも全ての角度が大きくなっていました。やはり、急斜面では、内傾角を大きくすることが重要となります。

図1　カービングターンにおける斜度の違いと内傾角



【急斜面における技術レベルの違い】

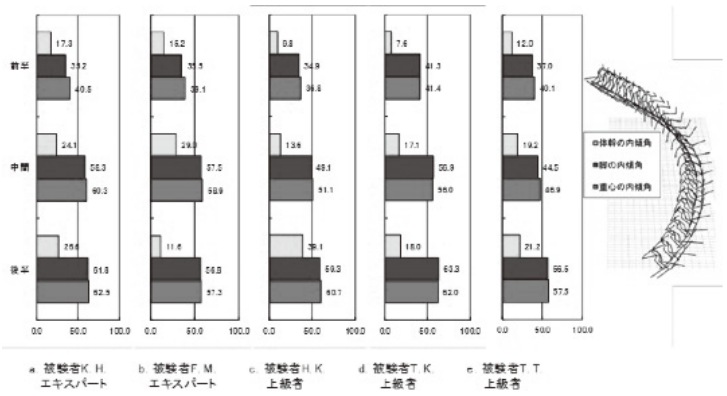
急斜面におけるエキスパート2名(指導者資格保持者)、上級者3名(急斜面でカービングターンができるレベル)のカービングターンの前半および中間、後半における体幹・外(左)脚・重心の内傾角度を比較しました(図2、三浦ほか、2001b))。

各被験者のターン前半および、中間、後半の重心の内傾角を比較すると、すべての被験者において、ターン前半の重心の内傾角が、ターン中間と後半に比べて最も小さい結果でした。このことは、ターン前半で重力がターン中心方向に作用し、重力をターンに利用できるためです。

ターン中間では、エキスパートが、上級者よりも体幹および脚、重心の内傾角が大きくなっていました。上級者では中間から後半へ徐々に内傾角が大きくなっていました。エキスパートは、上級者に比べてターン中間の早い時期から重心の内傾角がターン後半とほぼ同じになっており、内傾角が大きいことは、スキーヤーに大きな力がかかっているといえ、ターン中間の早い時期から、スキー板の横ずれによる散逸エネルギーが少ないカービングターンをしています。

ターン後半の舵取りでは、エキスパートと上級者の内傾角に大きな違いはみられませんでした。上級者もターン後半にはカービングターンができているといえます。

図2　急斜面カービングターンにおける内傾角



【結果からの指導のポイント】

中斜面に比べて、急斜面は、内傾角を大きくする必要があります。エキスパートでは、急斜面で全体的に内傾角が大きくなっていましたが、技術レベルでの比較をすると、ターンの中間に内傾角が大きくできるかどうかの違いが見えてきました。これには、スキーがフォールラインに向く、比較的早い時期から雪面効力を受け(雪面を捉え)ることが必要になります。ターン後半では、ターン内側への向心力は重力に逆らう方向ですので、スキーヤーは、大きな力を受けて(発揮し)ターンします。しかし、ターンの中間で受ける力は、まだ重力に抵抗する力はかからなく、前のターンから側方へ移動しようとする自身の慣性のみの小さな力を利用することになり難しいです。しかも、下方向へ滑り降りながら、このターン内側への側方の力を得る動作を行いますので、難しくなっています。

そこで、ターン前半のコントロールや力を受ける感覚として、ギルランデなどでのターン前半部分にあたる弧の大きさを変えたり、荷重を試みたり、荷重の大きさを変えるなどの練習が効果的だと考えられます。指導者レベルのエキスパートの動作となりますが、スピードコントロールやターンコントロールに有効ですので、クローズアップしたい技術となります。

【参考文献】　三浦哲, 三浦望慶, 下永田修二、カービングターン動作のキネマティクス的分析による特徴−カービングとスキッディングのターン動作の比較から−. 日本スキー学会誌第11回大会号, 2001、pp.50-51.
三浦哲, 三浦望慶, 後藤幸弘、カービングターン動作のキネマティクス的分析. 合同学会大会2000論集　スポーツ科学の総合化に向けて　第8回日本運動生理学会／第16回日本バイオメカニクス学会合同大会大会論集, 2001b、p. 434.

検定会

		北海道支部	北東北支部	南東北支部	関越支部	志賀高原支部	長野北信支部	長野中信支部	西日本支部	SIAフェスティバル
アルペンスキー	ステージⅠ	3/10～12 テングヤマ	3/1～3 大鰐	3/13～15 箕輪	3/7～9 神立高原	12/12 講習パート1 2月 講習パート2 志賀高原一の瀬	2/21･2/28～3.1 菅平高原	※長野北信支部に参加	3/14～16 スキージャム勝山	4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅡ	3/10～12 テングヤマ	3/8～10 安比高原	3/13～15 箕輪	3/7～9 神立高原	12/12 講習パート1 2月 講習パート2 志賀高原一の瀬	2/21･2/28～3.1 菅平高原		3/14～16 スキージャム勝山	4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅢ									4/6～9 志賀高原
スノーボード	ステージⅠ	3/7～9 マウントレースイ		3/13～15 箕輪	2/22～24 神立高原	12/12 講習パート1 2月 講習パート2 志賀高原一の瀬				4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅡ			3/13～15 箕輪	2/22～24 神立高原	12/12 講習パート1 2月 講習パート2 志賀高原一の瀬				4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅢ									4/6～9 志賀高原
テレマークスキー	ステージⅠ	3/8～10 テングヤマ					2/21･2/28～3.1 菅平高原			4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅡ						2/21･2/28～3.1 菅平高原			4/9 志賀高原 ※検定のみ （講習なし）
	ステージⅢ									4/6～9 志賀高原

2017指導実習テーマ　※ステージⅢについては試験会場での発表となります。

「実技・指導実習検定」参加予定会員の皆様

今回の指導法テーマ発表は検定合格のためだけではなく、今シーズンの実際の活動の中で「指導力向上」を考えてシーズン前に発表させて頂きました。
検定会においては、シーズンを通して研究を積み重ね、SIA教師として公式ブックに沿った指導とオリジナル指導の素晴らしい指導法の発表をお願いいたします。

〈アルペンスキー・ステージⅠ〉
①プルークファーレンからプルークボーゲンの導入
②プルークボーゲンからAパターンで初歩パラレルへ導入
③プルークボーゲンからBパターンで初歩パラレルへ導入
④ストックワークの導入
⑤初歩パラレルから基礎パラレルターン・ロングへの導入
⑥基礎パラレルターン・ショートの導入

〈アルペンスキー・ステージⅡ〉
①基礎パラレルターン・ロング（ズレ大）からズレの少ない
パラレルターン・ロングへの導入
②基礎パラレルターン・ショート（ズレ大）からズレの少ない
パラレルターン・ショートへの導入
③上下動を使ったロングターンの導入
④ベンディングを使ったロングターンの導入
⑤ジャンプを使ったショートターンの導入
⑥ウェーデルンの導入
⑦外足の捉えが弱いスキーヤーに対しての指導
※ポール体験中回転シングルポール
セッティングの目安⇒ インターバル14m～23m程度15期門程度

〈スノーボードステージⅠ〉
①片脚装着での滑走から停止の指導（両サイド）
②斜め横滑りへの導入（両サイド）
③ギルランデ浅回りから深回りの指導（ヒールサイド）
④ギルランデ浅回りから深回りの指導（トゥサイド）
⑤ズレの多いターンの導入（両回転）
⑥スライディングターンの導入（連続）

〈スノーボードステージⅡ〉
①ロングターンからショートターンへの導入（両脚操作）
②ロングターンズレからキレへの導入（両脚操作）
③後ろ脚操作ターンに必要な運動要領を説明および指導（ターンサイズ自由）
④ショートターンへの導入（後ろ脚操作）
⑤前脚操作ターンに必要な運動要領を説明および指導（ターンサイズ自由）
⑥ショートターンへの導入（前脚操作）
⑦スライドスイッチの導入（両サイド）
⑧オーリーとノーリーの習得後の指導

〈テレマークスキーステージⅠ〉
①テレマーク基本姿勢の指導
②Aパターンで基礎テレマークターンへ導入
③Bパターンで基礎テレマークターンへ導入
④スムーズなテレマークターンのための練習項目を3つあげて、指導
⑤不安定なテレマークスキー姿勢になる原因を一つ上げ、改善するための指導

〈テレマークスキーステージⅡ〉
①フロントステップターンの有効性を説明と導入
②バックステップターンの有効性を説明と導入
③ターン孤を洗練させる説明と導入
④ショートターンへの導入
⑤安定感のあるショートターンへの導入
⑥切り替えで両脚が揃って止まってしまう改善の指導

ステージⅡ・Ⅲ選択種目について

実技・指導実習検定会受検時「選択種目認定証の写し」提出について、下記のように変更となります。

〈ステージⅡ〉（今期より選択種目がなくなりました）
・新規受検　「選択種目認定証の写し」の提出は不要です。
・再受検（実技・指導実習検定会を受検中）で「選択種目認定証の写し」を未提出の方
他団体の実施する同等の技能検定も認めることとなりました。
アルペンスキー
＝国際スキー技術検定セミ・シルバー以上
または同等の技能検定（SAJ3級以上）
スノーボード
＝スノーボード技術検定セミ・シルバー以上
または同等の技能検定（SAJ・JSBA3級以上）
テレマークスキー
＝テレマークスキー技術検定シルバー以上
または同等の技能検定（TAJレベルⅠ以上）

〈ステージⅢ〉
他団体の実施する同等の技能検定も認めることとなりました。
アルペンスキー
＝国際スキー技術検定シルバー以上
または同等の技能検定（SAJ2級以上）
スノーボード
＝スノーボード技術検定シルバー以上
または同等の技能検定（SAJ・JSBA2級以上）
テレマークスキー
＝テレマークスキー技術検定セミ・ゴールド以上（※）
または同等の技能検定（TAJレベルⅠ以上）

※ゴールド認定証の写しまたはテレマークスキー技術検定セミ・ゴールド証明書

●会員研修会単位について

正会員は会員研修会に参加し、4年以内に8単位を取得することが必要です。計画的な単位取得と、資質向上のための会員研修会参加をお願いいたします。
※単位を確認される場合は、協会からの郵便物の宛名シールにてご確認ください。

支部主催行事・問い合わせ先

主催支部	担当・所属校	連絡先	E-Mail／オフシーズン
北海道支部	支部長　佐藤 一臣 三浦雄一郎&スノードルフィンスキースクール 札幌	TEL 011-685-7052 FAX 011-596-8067	hsia@hotmail.co.jp （TEL 011-596-8057）
北東北支部	支部長　菅原 正人 安比スキー&スノーボードスクール	TEL 0195-73-5978 FAX 0195-68-7062	masa.suga@outlook.jp （TEL 090-7076-2407）
南東北支部	支部長　田端　敦 磐梯スキーアカデミー	TEL 0242-62-2831 FAX 0242-62-4124	bandaisa@nifty.com （TEL 090-3055-1046）
関越支部	支部長　井上 美知 INOUE K2 プロスキースクール	TEL 025-787-0302 FAX 025-787-1837	spooky@juno.ocn.ne.jp
志賀高原支部	支部長　芹川 正弘 ワイズスノースポーツスクール	TEL 0269-24-2180 FAX 0269-24-2181	seri@muh.biglobe.ne.jp （TEL 047-458-7861）
長野北信支部	支部長　宮澤 具基 菅平サクラメント・スキースクール	TEL 0268-74-2007 FAX 0268-74-2007	miyazawa@sacramento-pss.com （TEL 026-222-6502）
長野中信支部	支部長　伊藤 高之 オーストリアスキー教室シーサイドバレー	TEL 025-558-2281 FAX 025-558-2281	sia_tyuusin@yahoo.co.jp （TEL 090-4028-9407）
西日本支部	支部長　宮本 光章 SPORTS-NET PRO SKI SCHOOL	TEL 079-667-7817 FAX 079-667-7817	hello@sports-net.co.jp （TEL 06-6606-0866）
その他	SIA事務局	TEL 03-5542-5907 FAX 03-5542-5908	info@sia-japan.or.jp

各行事の詳しい要項・申込用紙等は、SIAホームページ（www.sia-japan.or.jp）から出力し、使用してください。
出力出来ない方は、SIA事務局に請求してください。

会員紹介 SIA公認校で日々活動している会員の方をリレー形式でご紹介

神谷 芳明 さん
アルペンスキー・ステージⅡ

所属校／ビアンカスキースクール

皆さん初めまして、ビアンカスキースクールの神谷と申します。

さて、シーズンも始まりレッスンや研修など忙しくお過ごしのことと思います。

私がビアンカスキースクールでお世話になりはじめて今年で4年目になりますが、技術も指導力もまだまだで、スクールや先輩、お客さんにご迷惑をおかけしながら御指導頂いている毎日を過ごしています。

なかなかハードな雪山生活ですが歳に負けずに、元気に楽しく過ごしていけるよう日々頑張っていきたいと思っています。

NEXT 神谷 芳明さんよりの次号紹介予定会員
日永 守隆さん（ワイズスノースポーツ スクール）

吉岡 宏 さん
アルペンスキー・ステージⅠ

所属校／スノークエスト・スキースクール

皆様、こんにちは。

この会報が届く頃は、シーズン真っ只中で、充実した日々を送られていると思います。

私は、菅平で、主に団体レッスンをしています。少しでも多くの生徒さんに、スキーの楽しさを伝えたいと、日々努力しております。

そして、私自身も、ゲレンデスキーをもっと練習しなければいけない身ですが、一昨年よりバックカントリーに目覚め、上りも滑りもやられっぱなしで、勉強させられながら、滑らさせてもらっていまが、毎回とても楽しみです。

楽しみといえば、オフシーズンは、バイクにキャンプ用品を積んで、日本中走り回ったり、イベントを主催したりしてます。風を切る爽快感や、左右の体重移動など、スキーに近いのかなと勝手に思っています。

今シーズンも、ゲレンデでたくさんの笑顔に出会えるようがんばっていきたいと思います。

どこかで見かけたら、気軽に声をかけてください。

NEXT 吉岡 宏さんよりの次号紹介予定会員
杉山 宏之さん（Hakuba47 スキーアカデミー）

柏木 未来さん
アルペンスキー・ステージⅠ

所属校／猪苗代プロスキースクール

みなさんこんにちは、猪苗代プロスキースクールの柏木未来です。

私はいま、大学で工学を学んでおり、学校に通いつつ、冬休みや春休みはスキー場に行くという生活をしています。

オフシーズン中は、バレーボールやテニスをして体を動かしています。

時間のある今のうちにたくさんいろいろなことを経験し、レベルアップしていければと思っています。

私は両親が若い頃からお世話になったスクールに所属しています。

周りの方々に小さい頃から見守っていただき、スキーができる環境に置かれていることをとてもありがたく思います。

数年前から、教わるだけではなく教える立場にもなり、人になにかを伝えることの難しさを実感するとともに、良いレッスンができるよう努力しなければならないと感じているところです。

まだまだ勉強が必要ですが、今まで見守っていただき、指導していただいた教師の方々のようになれるように頑張っていきたいと思います。

これからもよろしくお願いします。

NEXT 柏木 未来さんよりの次号紹介予定会員
松本 義一さん（磐梯スキーアカデミー）

スキー教師を続けていくためのヒント

井上 強 さん
アルペンスキー・ステージⅢ
所属校／ハチ高原スキーアカデミー

会員の皆様こんにちは。心待ちにしていたシーズンも中盤にさしかかりお忙しくされていることと思います。

私は冬季は兵庫県のハチ高原にありますハチ高原スキーアカデミーの代表として活動をしています。

ここハチ高原は会員の皆様にはあまり馴染みのないスキー場でしょうが、教育旅行の受け入れでは日本でもトップクラスのスキー場です。

私が所属しているハチ高原スキーアカデミーはパークホテル白樺館の専属スキースクールで、特に学校団体様向けのインストラクションを得意としています。また、パークホテル白樺館では年間通して青少年への野外教育に力を入れ宿泊から野外インストラクションまで一貫したサービスの提供を行っています。

冬季は、約60校の団体様にご活用頂き、教育旅行の中でスキー技術向上は基よりスキーを通して自然の中でのリスク管理やグループビルディング等、幅広いご要望に対応しながら楽しくシーズンを過ごしています。

私のプロスキー教師を続けていく上でのポイントは「対応力」です。

現在、年間通して様々な団体様に自然を活用したアクティビティを行える環境を生かし技術や方法論だけではなく、団体や個人の個性を引き出すファシリテーション能力や気持ちよく受講していただける言葉がけ等、一貫したコミュニケーションスキルを向上させる事により、幅の広い「対応力」が身につき技術だけではない厚みのあるプロスキー教師を一歩一歩目指しています。

私のポイントである「対応力」をスキルアップさせる事は、「人」としての魅力を磨き、その結果、プロスキー教師が毎年続けられる環境を個々に合った形で見出せるのではないかと思っています。

これらの心がけが、会員の皆様へのヒントになるかはわかりませんが私はこのようにプロスキー教師を踏み出しています。

NEXT 井上 強さんよりの次号紹介予定会員
阿部 理沙さん（オニコウベスキー&スノーボードスクール）

日本スキー学会第27回大会開催要項（SIA会員は4単位取得できます）

①目的

日本スキー学会は、スキーに関する科学的研究ならびに研究者相互の交流を促進し、スキー関連諸科学の発展に寄与することを目的としています。スキーを取り巻く様々な諸問題に、体育学、医学、バイオメカニクス、工学、経営学、経済学などの幅広い視点から研究活動を展開しています。平成2年の設立以来、年1回の学会大会を開催しており、27回大会となる今大会では、『スノースポーツにおける科学の役割』をメインテーマに、基調講演、シンポジウムをはじめ、一般研究発表、ワークショップなどの充実したプログラムを企画しています。学会大会では、研究成果の発信とともに、スキーに関する諸活動を社会に普及する場となることを目指しています。

②期日

2017年3月12日（日）～15日（水）

③場所

キロロリゾート／キロロ トリビュートポートフォリオホテル 北海道
〒046-0593　北海道余市郡赤井川村字常盤128-1　TEL：0135-34-7100

④大会プログラム

テーマ『スノースポーツにおける科学の役割』
- 基調講演
- シンポジウム「スノースポーツにおける科学の役割」
- ワークショップ「トップスキーヤー講習、スノーボード講習」

その他、プレセミナー、一般研究発表（約20題）など多数の企画を予定しています。

⑤対象

日本スキー学会会員（大学教員、医師、スキー指導者、スキー用品開発者、スキー研究者、大学院生等）、SIA会員および非会員

⑥参加費

日本スキー学会会員：5,000円　協賛団体：5,000円　SIA会員：5,000円　非会員：7,000円
学生会員：2,500円　非会員学生：2,500円（基調講演、シンポジウムのみの参加は無料）

⑦大会のお問い合わせ先

〒010-8502　秋田県秋田市手形学園町1-1
秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻　廣瀬研究室内
日本スキー学会第27回大会事務局　conference27th@js3.jp　http://www.js3.jp/conference27/
TEL：018-889-2723　FAX：018-837-0405

新役員紹介

11月12日開催の第37期定時会員総会において、
任期満了に伴う役員改選が行われ、新役員が決定しました。
（平成29年1月20日現在）

会 長
中島 英臣 65歳
大鰐スキースクール校長

副 会 長
宮田 隆史 65歳
ニセコアンヌプリ
スキースクール校長

専務理事（広報部兼任）
広報部・広報委員長
井上 裕明 53歳
FORTUNE Racing Academy 校長

常務理事（総務部長）
総務部・総務委員長
財務委員長
横元 信明 62歳
中里スノーウッドスキースクール 校長

常務理事（教育部長）
江畑 昌英 58歳
木島平プロスキースクール 校長

常務理事
（学校部長・総務部兼任）
学校部・学校委員長
総務部・国際委員長
杉山 公信 47歳
杉山スキー＆
スノースポーツスクール 校長

常務理事（広報部長）
広報部・普及委員長
奥村 治 57歳
ヘブンスそのはら
　プロスキースクール校長
水上高原
　プロスキースクール校長
めいほう
　プロスキースクール校長

理 事
（総務部副部長・教育部兼任）
総務部・支部委員長
教育部・研修委員長
横尾 恵里 56歳
オニコウベスキー＆
スノーボードスクール 校長

理 事（総務部担当）
総務部・支部委員会担当
阿久津 千恵子 61歳
2in1ベーシックレーシングアカデミー

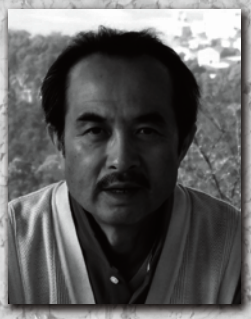
理 事（総務部・学校部担当）
総務部・国際委員会
学校部担当
北神 有理 48歳
高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL

理 事（教育部副部長）
教育部・資格委員長
障がい者スキー委員長
穴田 慎一 47歳
黒ゆりプロスキースクール 校長

理 事（教育部担当）
教育部・技術委員長
久慈 修 46歳
TSO SKI ACADEMY 校長

理 事（学校部副部長）
学校部・安全委員長
山之内 弘 61歳
赤倉ヨーデルスキー学校校長

監 事
梶井 晃 51歳
公認会計士



監 事
川野 徳廣 65歳
北広島スキースクール21 校長

監 事
藤原 秀昭 61歳
高天ヶ原 SKIWI
SKI SCHOOL 校長

SIAの活動と取り組みにご協力頂いてる賛助会員よりインフォメーション

BbTALKIN' ACTION SPORTS INTERCOM Bluetooth

スキー／スノーボードレッスン 必須アイテム登場!!

株式会社ブルーモンス 袖山 秀樹

スキー・スノーボードレッスン中、大声で指示を出していませんか？
例えば、ポールレッスン中に、「手を前に！」「外足！」など、
本当にその指示は、生徒たちに的確に届いているのでしょうか？
またコーチ1人、生徒3人の2時間レッスンで、滑りに対して
1人との対面会話時間は5～10分くらいしかないのでは？
こんな状況を解決できるアイテム、それが「BbTALKIN'」です。

【特徴】
・大声を出す必要は全くなし、リアルタイムで的確な指示が出せます。
・レッスン中、前からも後ろから、横からも指導しながら滑れるので、
プライベートレッスンには最高の必須アイテムです。
・生徒も滑走最中に的確なアドバイスが受けられるので、
その場で瞬時に修正でき、結果として上達が非常に早くなります。
・リフト移動中も会話レッスンができるので、お客様の満足度が
非常に高くなります。
・会話しながら滑走できるので、教える人も教えられる人もとても楽しい。
・また家族、お父さん、奥さん、子供達、ファミリーで会話しながら滑れます。
今まで滑り出すと1人だったスキー・スノーボードが、BbTALKIN'のおかげで
会話しながら楽しめます。

BbTALKIN' でのレッスン風景

BbTALKIN' 装着例

【仕様】
◆世界初双方向通信ができる通信機です。
ハンズフリーで相互交信ができるので作業（プレー）しながら指示
◆超小型　W x D x H：7 x 2 x 4cm アンテナ部：5cm
◆超軽量　総重量：68g（防水ケース/イアホーン含む）
◆通信距離(遮蔽物無い状態)
1対1　1600m
1対2　800m
1対3　400m

【ユーザー体験談】
既に使用している元日本を代表の著名選手にお聞きしました。
午前・午後2時間のスキーレッスンで4名を教えた場合
1人のレッスン時間は1時間。
つまり1人に対して1日１時間しか持ち時間がなく、
3時間はただ立っているだけになってしまいます。
BbTALKIN'採用により、この3時間が無駄にならなくなりました。
リフトの移動時間も質疑応答レッスンができ無駄にならず、
非常に充実感を持って、お客様を満足させる事が出来ます。
講習者のチームの和ができて、リアルな反応が手に取るように
分かり、自身がまた、スキー講習の情熱が蘇りました。
・・・と私に熱く語っていただきました。

SONY

ヘルメットに装着するだけで、
耳をふさがずに会話ができる。
スノースポーツ専用
コミュニケーションギア。

ヘルメットマウントワイヤレスヘッドセット
NYSNO-10
2017年1月下旬発売予定（3000台限定）

グループトーク
ハンズフリー通話
音楽再生
防水　防塵　耐衝撃　耐低温 *1

*1 防水：JIS IPX5 相当、防塵：JIS IP6X 相当、耐衝撃：1.2m、耐低温：-10℃

Sam Smoothy
ヘルメットに装着したイメージ。ヘルメットは別売りです。

販売に関するお問い合わせ先
株式会社ロータスインターナショナル
Tel: 03-6206-9230

製品の詳細情報については
http://www.sony.net/NYSNO/
ソニー株式会社

SIA賛助会員一覧　SIAは下記の法人賛助会員、個人賛助会員の皆様に、多様な形でご支援いただいています。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
www.aioinissaydowa.co.jp

株式会社ICI石井スポーツ
www.ici-sports.com

株式会社アイ・シー・ジャパン
www.ic-j.co.jp

株式会社アプルラインド・ジャパン
www.applerind.jp

アメアスポーツジャパン株式会社
www.amerjapan.com／www.salomon.co.jp

株式会社岩手ホテルアンドリゾート
www.appi.co.jp

エランジャパン株式会社
www.elanjapan.co.jp

LBC株式会社
www.lbcweb.jp

株式会社小賀坂スキー製作所
www.ogasaka-ski.co.jp

オンヨネ株式会社
www.onyone.co.jp

カスタムプロデュース株式会社
www.customproduce.com

株式会社キャラバン
www.caravan-web.com

株式会社クアトロデザイン
www.quattro.tokyo

グループ・ロシニョール株式会社
www.grkk.co.jp

株式会社クロスプロジェクトグループ
www.x-pg.com

株式会社K２ジャパン
www.k２japan.com

株式会社ゴールドウイン
www.goldwin.co.jp／www.fischer.co.jp

株式会社シナノ
www.sinano.co.jp

株式会社城山
www.shiroyama.co.jp

ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社
www.jaguar.co.jp / www.landrover.co.jp

株式会社スコットジャパン
http://www.scott-sports.jp

株式会社スワロースキー
www.swallow-ski.com/

ソニー生命保険株式会社
www.sonylife.co.jp/

株式会社テクニカグループジャパン
www.tecnica-group.co.jp

株式会社デサント
www.descente.co.jp

株式会社東急リゾートサービス
www.resortservice.co.jp

株式会社ドリームゲート
www.aspen-skishop.com

NORTHRANGE
www.northrange.jp

日本ケーブル株式会社
www.nipponcable.com

バートンジャパン合同会社
www.burton.co.jp

株式会社ハンクス
http://www.kei-ski.co.jp

株式会社フェニックス
www.phenix.jp

株式会社ブルーモリス
http://www.bluemoris.com/

株式会社プレスト
www.presto-pre.com

HEAD Japan 株式会社
www.head.com

ヘルト株式会社
www.held.co.jp

有限会社ベイリーフ
www.yoroi-blp.com

マーカーフォルクルジャパン株式会社
www.marker.co.jp

株式会社マックアース
www.macearth-web.com

ミズノ株式会社
www.mizuno.co.jp

YAMAGA BLANKS
yamaga-blanks.com/ski/

株式会社山五企画
www.yamagokikaku.jp

山本光学株式会社
www.yamamoto-kogaku.co.jp

ラフマ・ミレー株式会社
www.millet.jp

株式会社レクザム
www.rexxam.com

株式会社ロータスインターナショナル
www.lotusint.co.jp

個人賛助会員一覧（敬称略）

阪田 幸信	小澤 征爾	佐藤 亮	佐藤 兼子	柴田 恵美子	竹石 惇樹	松沢 正仁	中野 孝	西倉 静夫	稲村 圭一	加藤 聡	新井 裕三
佐合 和夫	小堀 博彦	山口 健二	谷畑 隆夫	小林 和子	愛甲 勝久	安部 明人	細貝 正紀	縣 信哉	幸保 浩司	川村 のぶ子	本山 公平
本山 美津子	本田 清人	後藤 響子	林 永信	岩倉 親俱	土岐 絹子	大島 和子	鈴木 智	秀島 一生	瀬口 洽六	八代 益	佐藤 開
伊東 善文	柴崎 秀子	和田 幸子	前河 喜美子	川端 潤一	下山 達也	小松 直喜	廣村 賢治	藤田 冨美子	石原 重厚	荒木 俊樹	後藤 照雄
佐取 広久	山本 みゆき	小室 直子	増山 一	古池 道弘	手取屋 岳夫	吉田 宗弘	黒川 光博	黒川 正博	大島 智朋	藤田 繁	坂村 英之
坂村 美代子	阿部 武彦	安藤 滋敏	山本 良樹	木村 濱雄	梶井 晃	小山 登	杉山 進	本間 正雄	石山 亜希実	中山 和子	稲田 信一
大森 和子	石川 止善	岩楯 駒子	四方 すすむ	伊東 清光	多田 正樹	森川 哲己	歌田 勝弥	歌田 作子	古藤 黎子	毛塚 明美	下田 裕二
流石 康一	藤木 忠善	長谷 哲生	大平 正春	泉 静香	町田 左喜男	秋吉 保廣	土屋 清三	神蔵 弘昭	小松 孝行	野原 勝敏	並木 すみ
清水 正也	河合 祥	伊藤 哲也	大楠 晴美	大楠 文代	阿部 耕司	阿部 真紀	望月 國平	小林 修一	細川 たかし	野村 浩子	矢沢 日出子
大神田 裕司	戸丸 瑞世	戸丸 隆三	佐藤 節也	清宮 始	関戸 啓子	本杉 佳子	岡崎 正人	細川 真理	豊田 道次	大堀 堯義	下山 修
海宝 雄太	土田 茂	江畑 千恵子	平田 孝夫	小上 忠	髙木 正博	見谷 昌禧	園原 孝子	青木 惠子	石橋 妙子	岡本 初子	檜野 勝衛
福興 孝子	杠 一義	梶原 彬實	加藤 昌利	小野木 淳	高野 勝廣	濱野 優子	嶋谷 博史	藤本 幸二	丸山 正廣	後藤 圭二	佐藤 晴雄
池田 祐久	池田 直樹	池田 有輝	王 万永	中釜 恵里	吉田 良作						

宛名ラベルの見方

104-0032
東京都中央区八丁堀2-2-9
コバキンビル3F
須木 太郎　様　　No. 8888

種別：活動会員　所属：SIAスノースクール　送付：S
有効単位：8　救急法：○　38期保険：4444
更新日：2017/9/30　有効期限：2018/7/25　会費：3837

●「No.」／会員番号を示しています。
●「種別」／「活動会員」か「維持会員」であるかを示しています。「活動会員」になろうとする場合、4年間で8単位取得することと救急法の受講修了と公認スキー学校に所属していることが必要条件となります。
●「所属」／登録されている所属校を示しています。
●「有効単位」「更新日」／「有効単位」は現在の有効単位を示しています。「更新日」までに8単位以上の単位取得が必要です。
●「救急法」「有効期限」／「救急法」救急法講習の受講状況を示しています。
◎=日本赤十字社救急法救急員（または同等の資格、消防署応急手当普及員等）
○=上記以外（普通救命講習、上級救命講習、救急法基礎講習等）
すでに受講しているにもかかわらず、「救急法」欄に◎印や○印が付いていない場合、修了証のコピーをSIA事務局宛にご送付ください。
「有効期限」は「救急法」の有効期限を示しています。受講証の有効期限がない場合、SIAとしての有効期限3年としています。
●「会費」／未納会費は、年会費が未納となっている会期を示しています。
◆空欄=未納会費なし。
◆会費／38=38期の会費が未納です。
◆会費／38 37=38期及び37期の会費が未納です。
●「保険」／SIA正会員総合補償制度の保険番号等を示しています。
（あいおい損害保険株式会社402662501−●●●●の黒丸部分を宛名ラベルに記載しています）
空欄の方は未加入です。※この保険は、9月末日までに年会費を納入した会員のみ適応されています。（補償期間は、12月1日～翌11月30日）
このため10月1日～11月30日発行の宛名ラベルには、保険番号ではなく対象予定であること等が表示されます。
●「送付」／シーズン中（12月～3月）の郵便物送付先について
本人のご希望により、“所属スクール宛”若しくは“協会登録住所（ご自宅）宛”　“送付不要”を選択できます。
貴方の送付先については、宛名ラベルの送付欄が次のように登録されています。
◆送付／S=“所属スクール宛”
◆送付／J=“協会登録住所（ご自宅）宛”
◆送付／N=“送付不要”
※“送付不要”について
●御家族に会員がおり、同様の郵便物が重複している方
●インターネットを活用しているので、郵便物は必要ないという方等

「住所等変更」の場合、すみやかに届け出を
転居等により、住所等に変更があった場合、すみやかにSIA事務局へ届け出てください。（市町村合併等による住所表記変更の場合も手続きを行ってください。）
SIAホームページに「住所等変更」連絡フォームを設置しています。
（トップページ→お問い合わせ→「住所等変更」連絡フォーム）住所連絡先等の変更をSIA事務局へ連絡することができます。

メールアドレス登録のお願い
メールアドレスを登録すると、SIAから研修会などの情報が配信されます。
登録には、SIAホームページ内「住所等変更」連絡フォームをご利用ください。

販売物紹介

「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」DVD付属 発行

角付けと重心移動を基本要素として使った、安全かつ効率良い指導理論を誌面と映像で展開。アルペンスキー、スノーボード、テレマークの3種目に対応する最新の技術指導書です！！

発 行 日：平成24年11月
定　　価：3,456円　　会員価格：2,962円

日頃のレッスンでは様々な工夫を凝らし、個性的なレッスンをされていると思いますが、そのベースとなっているのは「SIA公式スキー＆スノーボードメソッド」です。最近の用具の変化がその操作や指導課程にも影響を及ぼし、それらが新教程発行のコンセプトを形成している事はご承知の通りです。

公益社団法人となったＳＩＡに今求められるのは、協会の所属会員が同じ意思を持って、公益の責任を果たすことです。すなわち、“SIAの理念”の下に「SIA公式スキー＆スノーボードメソッド」に則り、お客さまに喜ばれる技術指導を行う事です。

「SIA公式スキー＆スノーボードメソッド」は、会員必携の書として、全会員が購入していただきますようお願い申し上げます。

「スノーボードティーチングブック」改訂版

平成18年に発刊した指導者向けスノーボードティーチングブックの改訂版。今回は、スノーボードのターンの仕組みを2部構成で分かりやすく解説。指導者としてスノーボードを伝えて行く上で、横向きである 以上避けられない事実を踏まえ、初心者からの指導手順を掲載しています。

【発行日】平成21年11月
【価　格】1,080円（税込）
※SIA会員・準会員のみ販売
【送　料】1冊＝164円、
2～5冊＝360円
6～19冊＝お問い合わせください
20冊以上＝無料

トッププロ・SIAデモが教えるスキーの基本

今から始める、再び始めるスキー。基本がわかれば確実にうまくなる。現代のスキーを知る!

プルークターンで理解を深める。本格的なカービングターンを描く。

大人スキーヤー必読の書!

【発　行】実業之日本社
http://www.j-n.co.jp/ski/
【発行日】平成21年12月15日
【価　格】1,404円（税込）
【送　料】1冊＝164円
2～3冊＝360円
4～19冊＝
お問い合わせください
20冊以上＝無料

最新オーストリアスキー教程

最新のオーストリアスキー教程の日本語版。キッズスキーからスノーボードまで、スノースポーツ全般の教程。

スキーを教えるためのプロセス満載です。指導者はもちろん、技術志向の方も必見の内容です。

【発　行】実業之日本社
www.j-n.co.jp/ski/
【発行日】平成19年11月15日
【価　格】1,620円（税込）
【送　料】1冊＝360円
2～19冊＝
お問い合わせください
20冊以上＝無料

SIAテレマークスキー指導体系

準備過程から応用過程まで、連続写真とアドバイスを一連で解説。

【価　格】720円（税込）
※SIA会員・
準会員のみ販売
【送　料】1冊＝164円
2～5冊＝360円
6～19冊＝
お問い合わせください
20冊以上＝無料

ワッペン／エンブレム／会員バッチ

エンブレムワッペン
（ブレザー用）
〔横68㎜×縦70㎜〕
SIA正会員のみ販売
5,400円（税込）

エンブレムワッペン
（スキーウエア用）
〔横63㎜×縦58㎜〕
SIA正会員のみ販売
864円（税込）

会員バッチ
SIA正会員のみ販売
1,285円（税込）

ISIAワッペン
〔横78㎜×縦61㎜〕
SIA正会員のみ販売
864円（税込）
【送　料】
1枚＝82円、
2～5枚＝160円

SIAステッカー

【価　格】720円（税込）
【送　料】無料

申込方法

所定の申込用紙に料金と送料を添えて、現金書留で若しくは銀行振込でSIA事務局へお申し込みください。

◆現金書留の場合…送付先
〒104-0032東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F　公益社団法人日本プロスキー教師協会

◆銀行振り込みの場合…振込先
三井住友銀行京橋支店　普通預金　7098636　公益社団法人日本プロスキー教師協会

◆郵便局「払込取扱票」の場合…振込先
東京　口座記号　00100-7　口座番号　538041　加入者名　公益社団法人日本プロスキー教師協会

※送付先等を FAX.03-5542-5908、若しくは E-mail: info@sia-japan.or.jp でご連絡ください。

SIA年会費自動払込手続きについて

会員の皆様の「会費」は協会財源として運営の要になっております。会費を納めやすいようにSIA年会費「自動払込」のご登録の推進を図っております。「会員付帯の補償制度加入」や送金手数料が不要になるなどの特典もございます。会友の皆様も会費の納入を失念されることもなく、送金手数料なしで納めていただけます。お手続に際しましては、以下の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

- 引落振替日：毎年9月27日（休日の場合は翌営業日）
- 引落振替案内：毎年6月のＳＩＡニュースに引き落としのご案内を同封いたします。
- 通帳への印字：「ＳＭＢＣファイナンス」で表示されます。
- 引き落とし額：正会員・Ⅲ・Ⅱ／12,000円
  正会員・Ⅰ／10,000円
  会　　友／ 4,000円
  準　会　員／ 5,000円（会費3,000円+補償制度加入2,000円）
- 会費の前納：会費の支払は９月３０日迄に納入することになっています。引き落とし完了と共に正会員（Ⅲ・Ⅱ・Ⅰ）の方は「会員付帯の補償制度」へ自動的に加入手続がされます。
- 口座の変更：引き落とし口座の変更がある場合は新たに依頼書の提出が必要です。
- 退会時の手続：退会（会友制度への手続ナシの場合）が決定しますと自動払込の登録を削除します。
- ご　注　意：2年続けてお届けの口座から引き落としが出来ない場合（シキンブソク等）は登録を抹消させていただきます。新ためて「自働払込」を希望される場合は新規の登録が必要になります。
  引き落としが出来なかった場合は事務局より連絡いたします。

尚、ご不明な点等ございましたら手数ですがＳＩＡ事務局迄ご一報ください。

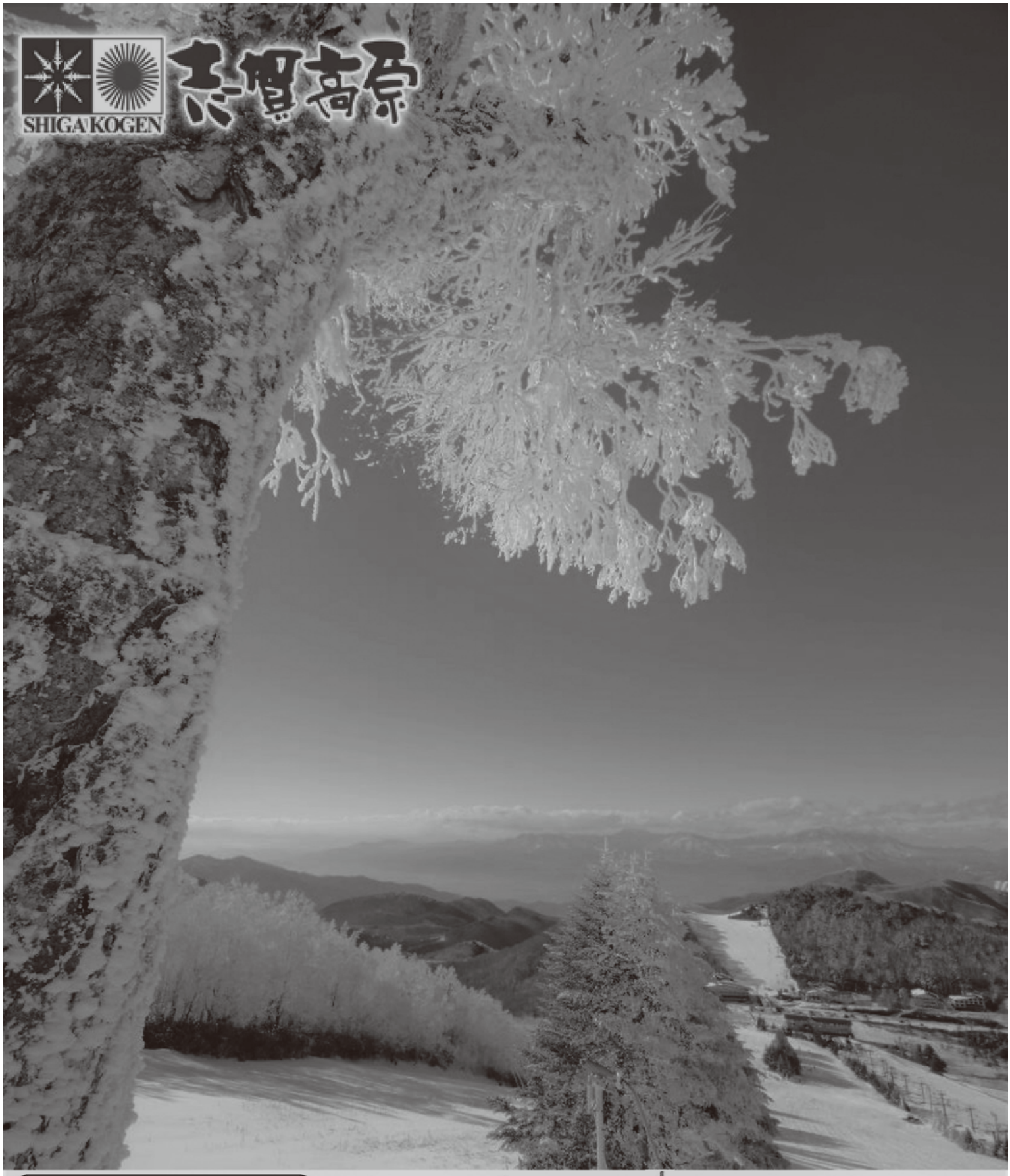
〈次号予告〉　次号SIAニュースVol.175は平成29年6月25日発行予定です。協会登録住所にお届けします。

発　行　元／公益社団法人 日本プロスキー教師協会（ＳＩＡ）
発　行　人／中島英臣
編　集　人／井上裕明
編集スタッフ／奥村治　横元信明　江畑昌英　杉山公信　山口圭
宮崎哲　塚田洋平　大峡慎吾　里中英二
問　合　せ／〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F
TEL. 03-5542-5907　FAX. 03-5542-5908
URL　http://www.sia-japan.or.jp
E-mail　info@sia-japan.or.jp

SIA NEWS VOL.173 CONTENTS

発行日／平成29年1月25日

総裁コラム …… 1
会長コラム …… 2
第43回 SIAフェスティバル2017 in 志賀高原 行事日程・各種開催概要 …… 2～6
体力と動作の科学⑨ …… 7
検定会／2017指導実習テーマ／ステージⅡ・Ⅲ選択種目について／支部主催行事・問い合わせ先 …… 8～9
会員紹介 …… 10
スキー教師を続けていくためのヒント／日本スキー学会第27回大会開催要項 …… 11
新役員紹介 …… 12
賛助会員からのインフォメーション …… 13
賛助会員一覧／お知らせ …… 14～15



東館山ゴンドラリフトリニューアル記念

今年は東館山スキー場が楽しい！

先着 1500 名様限定

ゲーム参加でたまちゃん缶バッジプレゼント！

志賀高原リゾート開発㈱/志賀高原中央エリアスキー場　長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 7149　http://www.shigakogen.co.jp/